

*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです

第31回 大パノラマの仙元山から西海岸を歩き長者ヶ崎へ



森戸神社から仙元山を登ると見える、相模湾一望の大パノラマ。雪化粧した富士山に心を癒し、下山して古社寺を巡った後は、冷気の中、潮の香と波の音を感じながら一色海岸を歩いてみませんか。やや健脚向きのコースです。(距離約8km、所要時間:約3時間)

森戸海岸

森戸海水浴場があり、夏はマリンスポーツで賑わう。伊豆半島や富士山も見える景勝地で、夕日が美しく「かながわ景勝50選」のひとつ。沖に裕次郎灯台が見える。



仙元山

眼下に相模湾を一望できる。頂上には、「不二仙元大菩薩」と彫られた富士講の碑がある。

大山展望広場



森戸神社

治承4年(1180)、源氏再興の旗揚げに成功した頼朝が日頃信仰する三嶋明神を勧請したと伝わる。境内には明治天皇の歌碑や葉山ゆかりの堀口大学の詩碑などがある。



仙元山登り口

208段の階段

クリーンセンター/観音塚 分岐

葉山小/富士分岐

スタート

森戸神社バス停

葉山小学校

花の木公園

しおさい公園

昭和62年(1987)6月に開園した。元は葉山御用邸付属邸跡地。

玉蔵院

1250年以上の歴史をもつ葉山町最古の寺院で、本尊の大日如来は葉山町の文化財に指定されている。また境内のイチョウが天然記念物に指定されている。



玉蔵院

玉蔵院の境内を抜けて森戸神社へ

葉山御用邸

現存する御用邸の中では一番古い。一色海岸に面し、御用邸の中を流れる下山川の河口には「臨御橋」と呼ばれる赤い橋がある。



森戸神社

葉山一色の総鎮守で森戸神社と共に葉山を代表する古社。天平勝宝年間創建の歴史をもつ。毎年8月末に五穀豊凶を占う「世計神事(よばかりしんじ)」や、33年に1回の「行合祭(ゆきあいまつり)」が有名。

葉山公園

御用邸に隣接する、松林の美しい公園。かつては御用邸付属の馬場だったが、戦後、県に払い下げられた。



ゴール

長者ヶ崎バス停

長者ヶ崎

葉山町と横須賀市との境に突き出た岬で、元は「尾ヶ崎」などと呼ばれていた。明治27年御用邸ができてから「長蛇園」という料亭・旅館ができ、その長蛇が長者となり、「長者ヶ崎」になったと言われている。

歩くときのワンポイントアドバイス

山登りは岩や階段など足元が悪いので、両手を空け、滑り難い靴を履き、急な階段は手すりを使いながらゆっくり慎重に登りましょう。また、砂浜は砂で足を取られたり、砂が靴に入り易いので、くるぶしまでの靴を履きましょう。